

◆ 今週のコメント

- ・ 侵襲性インフルエンザ菌感染症の報告が1例(80歳代女性)ありました。症状は肺炎、菌血症です。本年の累積報告数は5例となっています。
- ・ ヘルパンギーナの京都市での定点あたりの報告数は0.81(34例)で、報告数が増加し、過去5年平均値より高い状況が続いています。患者との密な接触を避け、手洗いを十分に行うなどの予防を心がけてください。

◆ 今週のトピックス: <咽頭結膜熱>

- ・ 咽頭結膜熱の定点当たり報告数は、京都市で0.26、全国で0.73となり、それぞれ前週から増加しました。詳細はトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ 二類:結核 7例(肺結核 1例, その他結核 3例, 潜在性結核感染者 3例)うち喀痰塗抹陽性 なし)
【1月以降の累積報告数 142例(肺結核 81例, その他結核 27例, 潜在性結核感染者 34例)うち喀痰塗抹陽性39例】
- ・ 五類:カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1例(第20週追加報告分)【1月以降の累積報告数 13例】
- ・ 五類:侵襲性インフルエンザ菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 5例】
- ・ 五類:侵襲性肺炎球菌感染症 2例(第17週追加報告分1例, 第19週追加報告分1例)【1月以降の累積報告数 45例】
- ・ 五類:梅毒(早期顕症梅毒) 1例(第16週追加報告分)【1月以降の累積報告数 9例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点42, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.09	6
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	7.90	332
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.64	69
	③ ヘルパンギーナ	0.81	34
	④ 流行性耳下腺炎	0.79	33
	⑤ 水痘	0.55	23
眼科	流行性角結膜炎	0.40	4

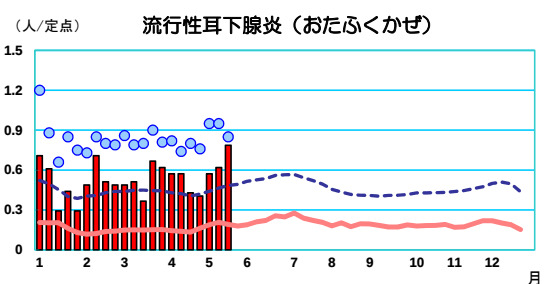
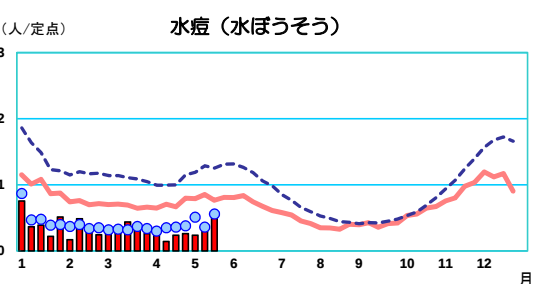
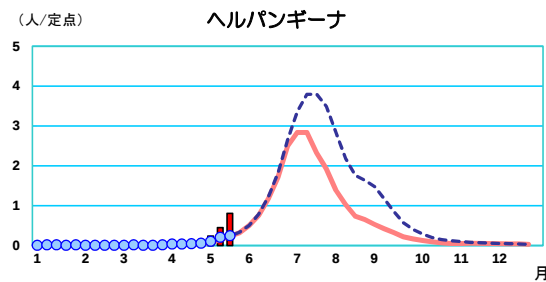
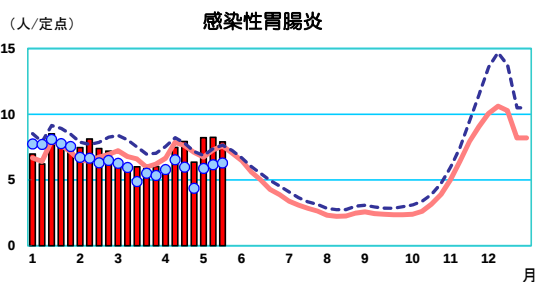
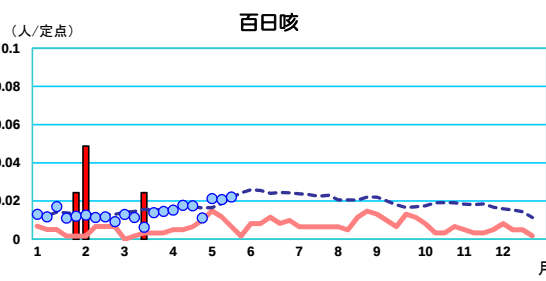
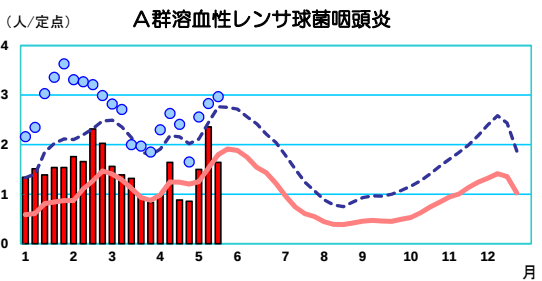
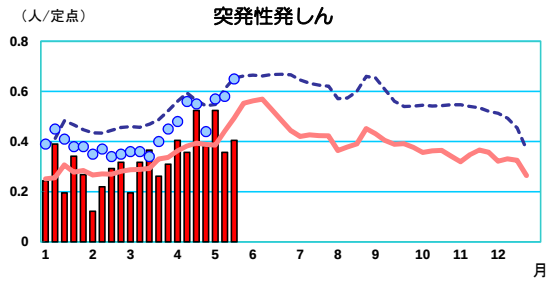
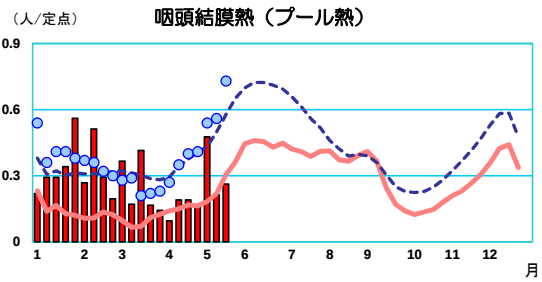
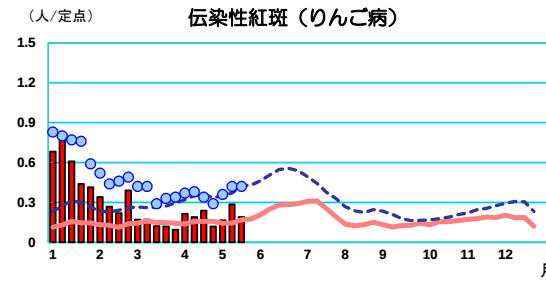
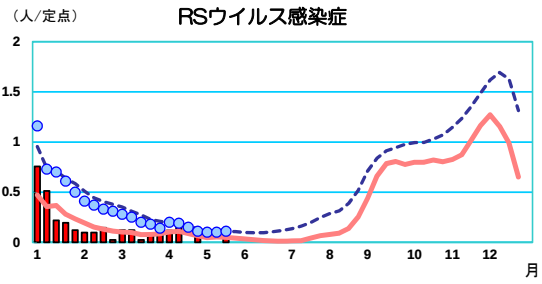
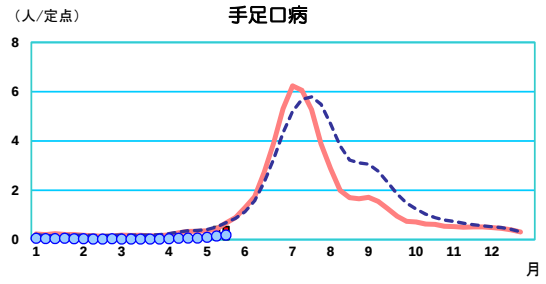
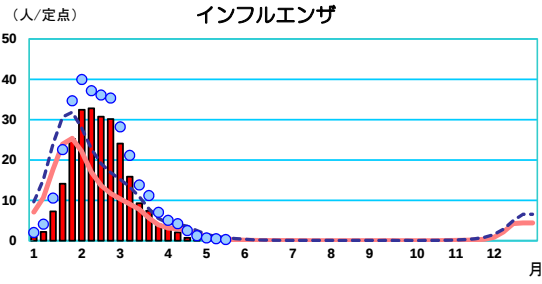
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <咽頭結膜熱>

付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは、平成28年6月1日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成28年）



第21週(5月23日～5月29日)トピックス:＜咽頭結膜熱＞

発生動向

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は、京都市で0.26、全国で0.73となり、それぞれ前週から増加しました(図1)。都道府県別では前週と比べ、36の都道府県で増加、近畿でも京都府以外の府県で増加が見られます(図2)。咽頭結膜熱は、例年6月頃から徐々に増加しはじめ、7～8月に流行のピークを迎えます。流行期を控え、報告数がさらに増加する可能性がありますので、今後の発生状況に注意が必要です。

本疾患の年齢階級別割合では、例年、小学校就学前の乳幼児が全報告数の約80%を占めています(図3)。中でも3歳までの割合が報告の過半数を超えており、特に1歳児が最多を占めています。小児の集団生活施設である保育所、幼稚園等での集団発生の可能性もありますので、十分に注意してください。

症状

主な症状は発熱、咽頭炎、結膜炎であり、潜伏期間は5～7日間、有症状期間は3～5日間です。特に治療方法はなく、対症療法が中心となります。

予防

本疾患の原因となるアデノウイルスは、感染力が非常に強く、手指を介したり飛沫により感染するので、流水と石鹸による手洗いやうがいを行うことが重要です。また、色々な消毒剤に対して比較的高い抵抗性を持つウイルスですので、器具に対しては煮沸、次亜塩素酸ソーダが有効です。

図1 本市の定点当たり報告数の推移

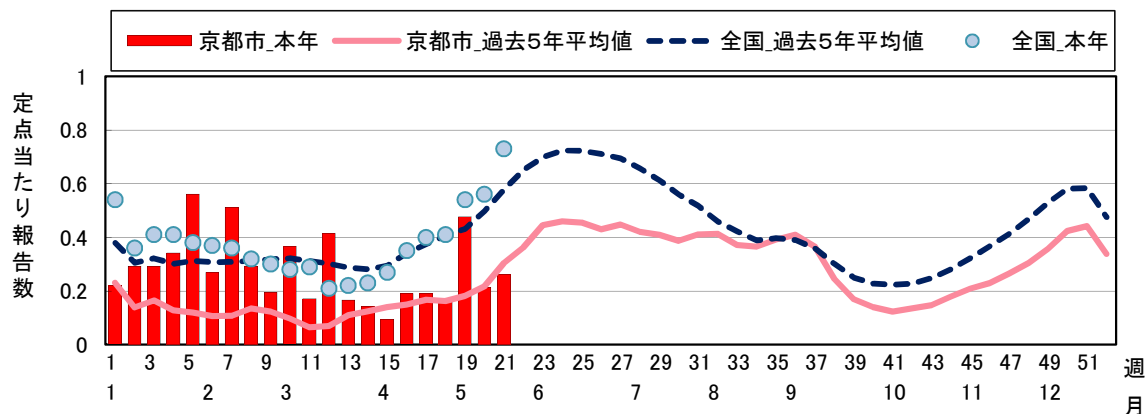


図2 都道府県別定点当たり報告数の推移

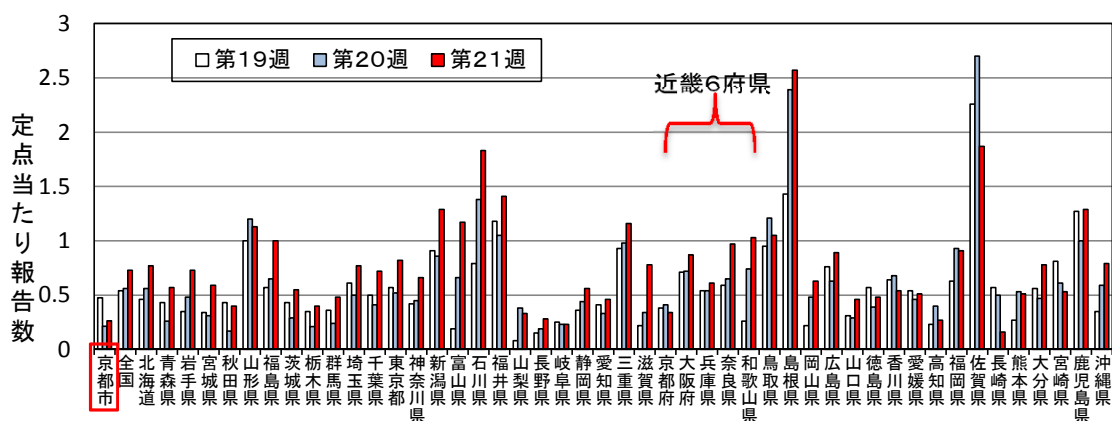
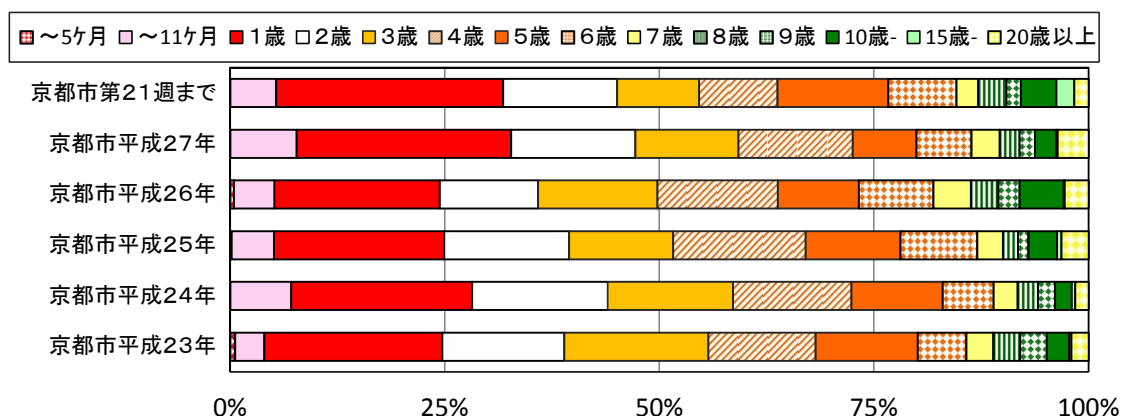


図3 本市の年齢階級別割合の推移



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成28年第21週

疾病,行政区別報告数

平成28年5月23日～平成28年5月29日

データ入手日:平成28年6月1日

	インフル エンザ (※1)	RS ウイルス 感染症	咽 頭 結 膜 熱	頭 炎 A 群 溶 血 性 レン サ 球 菌 咽	感 染 性 胃 腸 炎	水 痘	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	百 日 咳	ヘル パン ギ ー ナ	流 行 性 耳 下 腺 炎	急 性 出 血 性 結 膜 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	細菌 性 髄 膜 炎 (※2)	無 菌 性 髄 膜 炎	マイ コ プラ ズ マ 肺 炎	クラ ミ ジ ア 肺 炎 (※3)	感 染 性 胃 腸 炎 (※4)
男女合計																			
北	-	-	-	4	12	-	-	-	-	-	3	-	-	-					
上京	-	-	-	6	8	1	-	-	1	-	-	1	-	-					
左京	-	-	-	8	56	4	-	2	3	-	2	2	-	-					
中京	1	2	-	2	8	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	12	3	1	-	-	-	-	1							
山科	-	-	2	6	9	3	2	1	-	-	5	4	-	-					
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
南	4	-	3	4	24	-	15	-	1	-	9	1							
右京	-	-	-	10	64	5	4	1	1	-	-	2	-	4					
伏見	1	-	2	15	82	4	-	2	9	-	12	19	-	-					
西京	-	-	4	14	57	2	-	1	1	-	3	3	-	-					
京都市計	6	2	11	69	332	23	22	8	17	-	34	33	-	4	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフル エンザ (※1)	RS ウイルス 感染症	咽 頭 結 膜 熱	頭 炎 A 群 溶 血 性 レン サ 球 菌 咽	感 染 性 胃 腸 炎	水 痘	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	百 日 咳	ヘル パン ギ ー ナ	流 行 性 耳 下 腺 炎	急 性 出 血 性 結 膜 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	細菌 性 髄 膜 炎 (※2)	無 菌 性 髄 膜 炎	マイ コ プラ ズ マ 肺 炎	クラ ミ ジ ア 肺 炎 (※3)	感 染 性 胃 腸 炎 (※4)
男女合計																			
北	-	-	-	1.00	3.00	-	-	-	-	-	0.75	-	-	-					
上京	-	-	-	2.00	2.67	0.33	-	-	0.33	-	-	0.33	-	-					
左京	-	-	-	2.00	14.00	1.00	-	0.50	0.75	-	0.50	0.50	-	-					
中京	0.20	0.67	-	0.67	2.67	0.33	-	0.33	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	6.00	1.50	0.50	-	-	-	-	0.50							
山科	-	-	0.50	1.50	2.25	0.75	0.50	0.25	-	-	1.25	1.00	-	-					
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
南	0.80	-	1.00	1.33	8.00	-	5.00	-	0.33	-	3.00	0.33							
右京	-	-	-	2.00	12.80	1.00	0.80	0.20	0.20	-	-	0.40	-	4.00					
伏見	0.09	-	0.29	2.14	11.71	0.57	-	0.29	1.29	-	1.71	2.71	-	-					
西京	-	-	0.80	2.80	11.40	0.40	-	0.20	0.20	-	0.60	0.60	-	-					
京都市計	0.09	0.05	0.26	1.64	7.90	0.55	0.52	0.19	0.40	-	0.81	0.79	-	0.40	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京 都 市 感 染 症 発 生 動 向 調 査 情 報

集計対象: 平成28年第21週

年齢階級, 疾病別報告数

平成28年5月23日～平成28年5月29日

データ入手日: 平成28年6月1日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ (※1)	年齢1	6	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	1	2	-	-	-	1
RSウイルス感染症	年齢3	2	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
咽 頭 結 膜 熱		11	-	3	6	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		69	-	-	3	3	5	10	9	9	10	4	6	4	2	4						
感染性胃腸炎		332	4	30	50	31	18	24	34	26	25	17	14	34	3	22						
水 痘		23	-	-	2	2	1	7	7	2	1	1	-	-	-	-						
手 足 口 病		22	-	-	5	6	4	5	1	-	-	-	1	-	-	-						
伝 染 性 紅 斑		8	-	-	-	-	-	2	4	2	-	-	-	-	-	-						
突発性発しん		17	-	10	4	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
百 日 咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ		34	-	2	16	6	2	4	1	1	1	-	-	1	-	-						
流行性耳下腺炎		33	-	-	-	-	-	3	3	14	5	3	1	3	-	1						
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		4	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-	-	-	-
細菌性髄膜炎 (※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ (※1)	年齢1	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	0.01	-	-	-	0.01	-	0.01	0.03	-	-	-	0.01
RSウイルス感染症	年齢3	0.05	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
咽 頭 結 膜 熱		0.26	-	0.07	0.14	-	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.64	-	-	0.07	0.07	0.12	0.24	0.21	0.21	0.24	0.10	0.14	0.10	0.05	0.10						
感染性胃腸炎		7.90	0.10	0.71	1.19	0.74	0.43	0.57	0.81	0.62	0.60	0.40	0.33	0.81	0.07	0.52						
水 痘		0.55	-	-	0.05	0.05	0.02	0.17	0.17	0.05	0.02	0.02	-	-	-	-						
手 足 口 病		0.52	-	-	0.12	0.14	0.10	0.12	0.02	-	-	-	0.02	-	-	-						
伝 染 性 紅 斑		0.19	-	-	-	-	-	0.05	0.10	0.05	-	-	-	-	-	-						
突発性発しん		0.40	-	0.24	0.10	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
百 日 咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ		0.81	-	0.05	0.38	0.14	0.05	0.10	0.02	0.02	0.02	-	-	0.02	-	-						
流行性耳下腺炎		0.79	-	-	-	-	-	0.07	0.07	0.33	0.12	0.07	0.02	0.07	-	0.02						
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.40	-	-	-	-	-	-	0.10	-	-	-	-	-	-	-	0.20	0.10	-	-	-	-
細菌性髄膜炎 (※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成28年第21週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成28年6月1日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	143	51	33	14	19	6
RSウイルス感染症	7	—	3	—	—	2
咽頭結膜熱	8	8	7	20	9	11
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	69	37	36	63	99	69
感染性胃腸炎	314	333	267	345	346	332
水痘	6	10	11	10	15	23
手足口病	2	4	—	9	22	22
伝染性紅斑	8	10	5	7	12	8
突発性発しん	15	22	16	22	15	17
百日咳	—	—	—	—	—	—
ヘルパンギーナ	3	3	4	10	19	34
流行性耳下腺炎	24	18	17	24	26	33
急性出血性結膜炎	—	—	—	—	—	—
流行性角結膜炎	2	3	3	2	1	4
細菌性髄膜炎 (※2)	—	—	—	—	—	—
無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—
マイコプラズマ肺炎	—	—	—	—	—	—
クラミジア肺炎 (※3)	—	—	—	—	—	—
感染性胃腸炎 (※4)	—	—	—	—	—	—
合 計	601	499	402	526	583	561

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	2.07	0.74	0.48	0.20	0.28	0.09
RSウイルス感染症	0.17	—	0.07	—	—	0.05
咽頭結膜熱	0.19	0.19	0.17	0.48	0.21	0.26
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.64	0.88	0.86	1.50	2.36	1.64
感染性胃腸炎	7.48	7.93	6.36	8.21	8.24	7.90
水痘	0.14	0.24	0.26	0.24	0.36	0.55
手足口病	0.05	0.10	—	0.21	0.52	0.52
伝染性紅斑	0.19	0.24	0.12	0.17	0.29	0.19
突発性発しん	0.36	0.52	0.38	0.52	0.36	0.40
百日咳	—	—	—	—	—	—
ヘルパンギーナ	0.07	0.07	0.10	0.24	0.45	0.81
流行性耳下腺炎	0.57	0.43	0.40	0.57	0.62	0.79
急性出血性結膜炎	—	—	—	—	—	—
流行性角結膜炎	0.20	0.30	0.30	0.20	0.10	0.40
細菌性髄膜炎 (※2)	—	—	—	—	—	—
無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—
マイコプラズマ肺炎	—	—	—	—	—	—
クラミジア肺炎 (※3)	—	—	—	—	—	—
感染性胃腸炎 (※4)	—	—	—	—	—	—
合 計	13.13	11.63	9.49	12.55	13.78	13.61

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。